

**有田川水系有田川
広域河川改修事業**

事業目的

○流下能力不足による浸水被害が発生
平成2年7月洪水

浸水戸数 55戸(床上浸水1戸、
床下浸水54戸)

○浸水被害の軽減を図る

- ・流路是正、狭窄部解消を実施
- ・治水安全度の向上を図る

計画流量 $1,250\text{m}^3/\text{s}$

計画治水安全度 $1/50$

有田川広域河川改修事業 着手年:昭和43年度

事業地:伊万里市、有田町

○事業概要

・全体事業費

15,400百万円

・事業期間 S43~H29

・改修延長 4,700m

・計画流量 1,250m³/s

・計画治水安全度 1/50

・掘削・築堤・護岸、 樋管3基、橋梁16基、 堰5基

・費用対効果 1.02



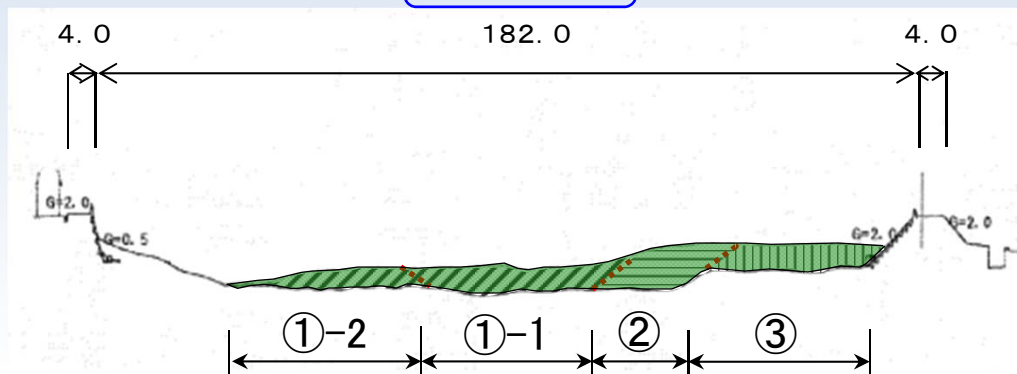
改修方針

○治水効果の早期発現及び自然環境に配慮し、段階施工を行う

- ①-1: $S=1/10$ の半分、①-2: $S=1/10$ 対応、②: $S=1/20$ 、
③: $S=1/50$ 対応

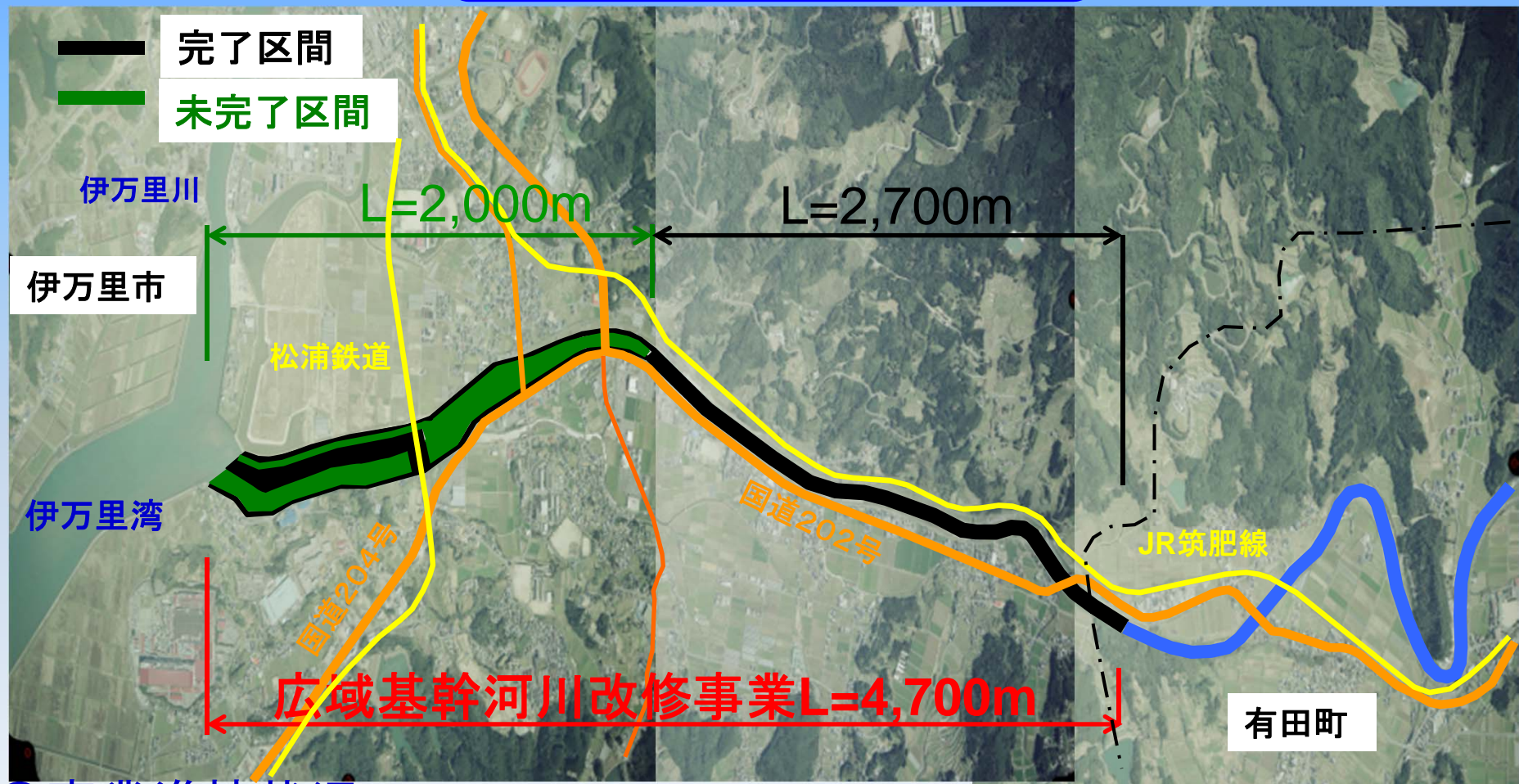
管理者	断面	事業実施イメージ
佐賀県 (当該事業)	①-1	
	①-2	
	②	
	③	

標準断面図



①-1: $S=1/10$ の半分、①-2: $S=1/10$ 対応
②: $S=1/20$ 、③: $S=1/50$ 対応

有田川 航空写真



○事業進捗状況

- ・下流部の河床掘削を残し、改修が完了している。
- ・H23年度末進捗率 87% (事業費ベース)
- ・年平均進捗率 2.0%

費用対効果 B/C

総費用額C: 治水施設の整備及び維持管理に要する総費用

総便益額B: 治水施設整備によってもたらされる総便益額

(被害軽減額)

(総費用額C及び総便益額Bをそれぞれ現在価値化し比較する)

総費用C: 41, 256百万円

総便益B: 41, 925百万円

- 内訳
- ・一般資産被害(家屋、家庭用品、事業所資産、
農漁家資産) 14, 758百万円
 - ・農作物被害(水稻、畑作物) 129百万円
 - ・公共土木施設等災害被害(道路、橋梁、農地等)
25, 004百万円
 - ・間接被害(事業所の営業停止被害、応急対策被害等)
1, 409百万円
 - ・残存価値 625百万円

※ 費用対効果

$$B/C = 41, 925 / 41, 256 = 1.02$$

平成2年7月 梅雨前線豪雨 有田川

連続雨量716mm 最大日雨量453mm 時間最大雨量75mm



床上浸水1戸

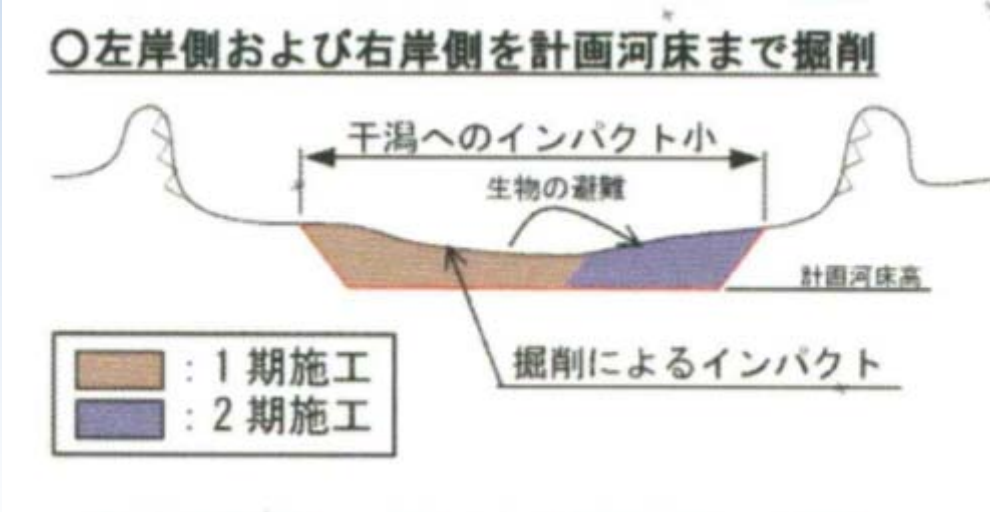
床下浸水54戸



平成23年7月 梅雨前線豪雨 有田川



下流部未完了区間状況



上流部完了区間状況



環境調査

※有田川下流部は良好な干潟を形成している

○平成16年度 水棲生物調査

多くの魚介類・底生生物の生息を確認
(絶滅危惧種のハクセンシオマネキ等)



○平成17年度 試験掘削

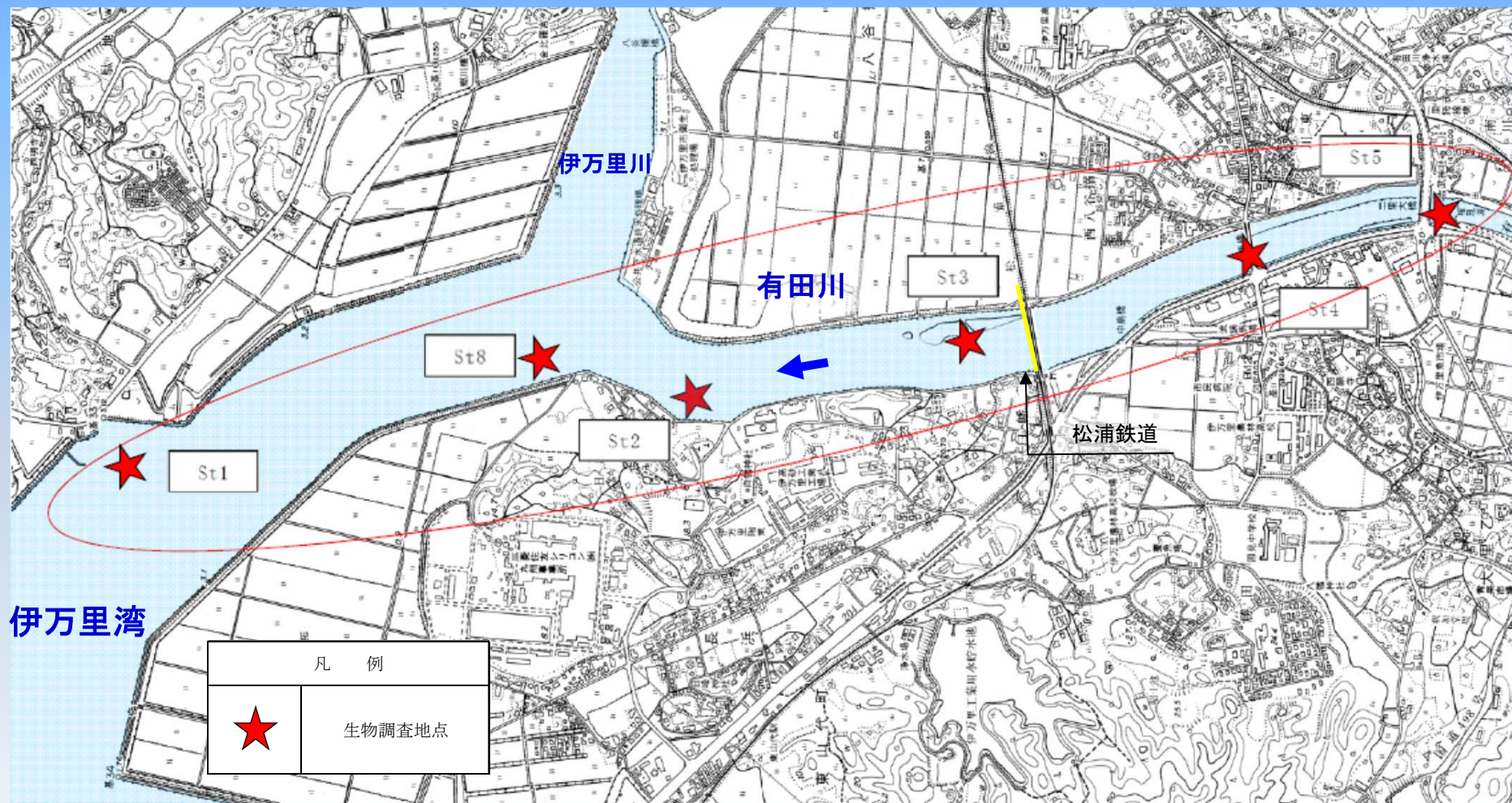
○平成18年度～平成23年度 モニタリング調査

試験掘削後の生息状況を調査(掘削前後の比較では、個体数に若干の変化があるが、特に劇的な変化はない)

○平成24年度以降

今後、モニタリング調査を行いながら、河床掘削を進めていく

モニタリング調査(魚類・底生生物)



掘削前と比べ、8割の共通種数が確認された

今後の有田川広域基幹河川 改修事業の継続について

☆河川改修の効果☆

①治水安全度の向上

②平成2年7月洪水による

浸水被害 55戸

浸水面積 1,170haの軽減

③地域住民の安心・安全の確保

☆今後の事業展開☆

・事業を継続し、早期完成を図りたい